

水道用水供給事業

中期経営計画（経営戦略）の達成状況

（令和元年度）

三条地域水道用水供給企業団

1 事業・取組実施計画に関する状況（基本方針別）

（１）安全な水道水の供給

令和元年度に水安全計画を策定しました。また、徹底した水質管理に努めた結果、水質異常はありませんでした。

今後も、策定した水安全計画に則り、水質異常を発生させないよう、引き続き、徹底した管理に努めます。

区分	令和元年度		
	計画	実績	達成状況
水安全計画策定等	計画策定	策定済	達成
水質異常発生回数（回）	0	0	達成

（２）防災対策の推進

災害時対応、復旧体制の確保の観点から、災害時を想定した連絡対応訓練を実施しました。

区分	令和元年度		
	計画	実績	達成状況
防災訓練実施回数（回）	3	3	達成

（３）健全な経営の持続

創設事業については、浄水処理施設のろ過池躯体の前期工事及び三条第一調整池建設の測量・設計業務委託を計画どおり実施しました。

更新事業については、沈殿池掻き寄せ機関連の第1期事業を計画どおり実施し、施設の機能保全を強化しました。

経営の効率化を図るための計画目標である、職員数、外部研修参加人数及び経常収支比率は、いずれも目標を達成しました。

区分	令和元年度		
	計画	実績	達成状況
創設残事業工事	計画期間中、各年度工事等実施（R9完成）	実施	達成
施設・設備更新事業	沈殿池掻き寄せ機 ①更新	実施	達成
職員数（人）	13	13	達成
外部研修参加人数（人）	2	8	達成
経常収支比率（％）	133.2	137.6	達成

2 投資・財政計画に関する状況

(単位：千円)

(1) 投資計画

建設事業（創設残事業）及び更新事業を計画どおり着実に実施しました。

なお、更新事業費の大谷ダム更新に係る県事業費負担金が減となったことから計画値を下回りました。

区分	令和元年度		
	計画	実績	計画値との差
建設事業費（創設残事業費）	134,200	129,952	▲ 4,248
更新事業費	40,387	29,370	▲ 11,017

(2) 財政計画（収支計画）

ア 収益的収支計画

料金収入は責任水量制の料金を中心としていることから、ほぼ計画どおりの収入を確保しました。

経常的管理経費の抑制に努めたことに加え、支払利息が減少したことから、水道事業費用は計画値を下回りました。

その結果、収支差引後の損益は計画を上回りました。

(単位：千円)

区分	令和元年度		
	計画	実績	計画値との差
水道事業収益（A）	1,227,384	1,228,516	1,132
1 料金収入	1,080,551	1,080,831	280
2 売電収入	14,009	14,193	184
3 長期前受金戻入	130,341	130,337	▲ 4
4 繰入金、雑収益等	2,483	3,155	672
水道事業費用（B）	928,002	902,609	▲ 25,393
1 経常的管理経費	299,460	281,215	▲ 18,245
2 減価償却費等	403,030	402,728	▲ 302
3 支払利息	150,464	142,720	▲ 7,744
4 雑支出等	75,048	75,946	898
5 特別損失	0	0	0
収支差引（A）－（B）	299,382	325,907	26,525
損益（収支差引消費税等抜額）	283,395	310,895	27,500

イ 給水原価、供給単価

給水原価は計画に比べ下回り、供給単価はほぼ計画どおりであったことから、料金回収率は計画値を上回りました。

区分	令和元年度		
	計画	実績	計画値との差
給水原価（円）	66.75	63.21	▲ 3.54
供給単価（円）	91.51	91.46	▲ 0.05
料金回収率（％）	137.08	144.69	7.61

ウ 資本的収支計画

新発の企業債が減となったことから、資本的収入は計画値を下回りました。

県事業費負担金に伴う施設・設備更新費等の減及び企業債利息の実行金利の軽減による減から、資本的支出は計画値を下回りました。

令和元年度の累積留保資金残高は、計画値を上回ることができました。

（単位：千円）

区分	令和元年度		
	計画	実績	計画値との差
資本的収入（A）	953,403	926,703	▲ 26,700
1 企業債	825,400	801,900	▲ 23,500
2 国庫補助金	44,100	42,500	▲ 1,600
3 建設時出資金、繰出金	83,903	82,303	▲ 1,600
資本的支出（B）	1,563,298	1,540,552	▲ 22,746
1 創設残事業費	134,200	129,952	▲ 4,248
2 施設・設備更新費等	41,957	30,728	▲ 11,229
3 企業債利息	148,715	141,446	▲ 7,269
4 企業債償還金	1,238,426	1,238,426	0
災害復旧債償還金（C）	5,261	5,261	0
収支差引（A）－〔（B）－（C）〕	▲ 604,634	▲ 608,588	▲ 3,954
累積留保資金残高	201,410	218,205	16,795

(単位：千円)

エ 企業債残高

企業債の令和元年度末残高は、新発債の減により計画値より少額にとどまりました。

区分	令和元年度		
	計画	実績	計画値との差
企業債残高	16,850,752	16,790,353	▲ 60,399

3 令和元年度の計画達成状況の総括

事業・取組実施計画に掲げた事業、目標値及び投資・財政計画に掲げた計画値については、概ね計画どおりに実施、達成することができました。今後も本計画を着実に実行することにより、更なる経営基盤の強化を図り、健全な経営を維持してまいります。